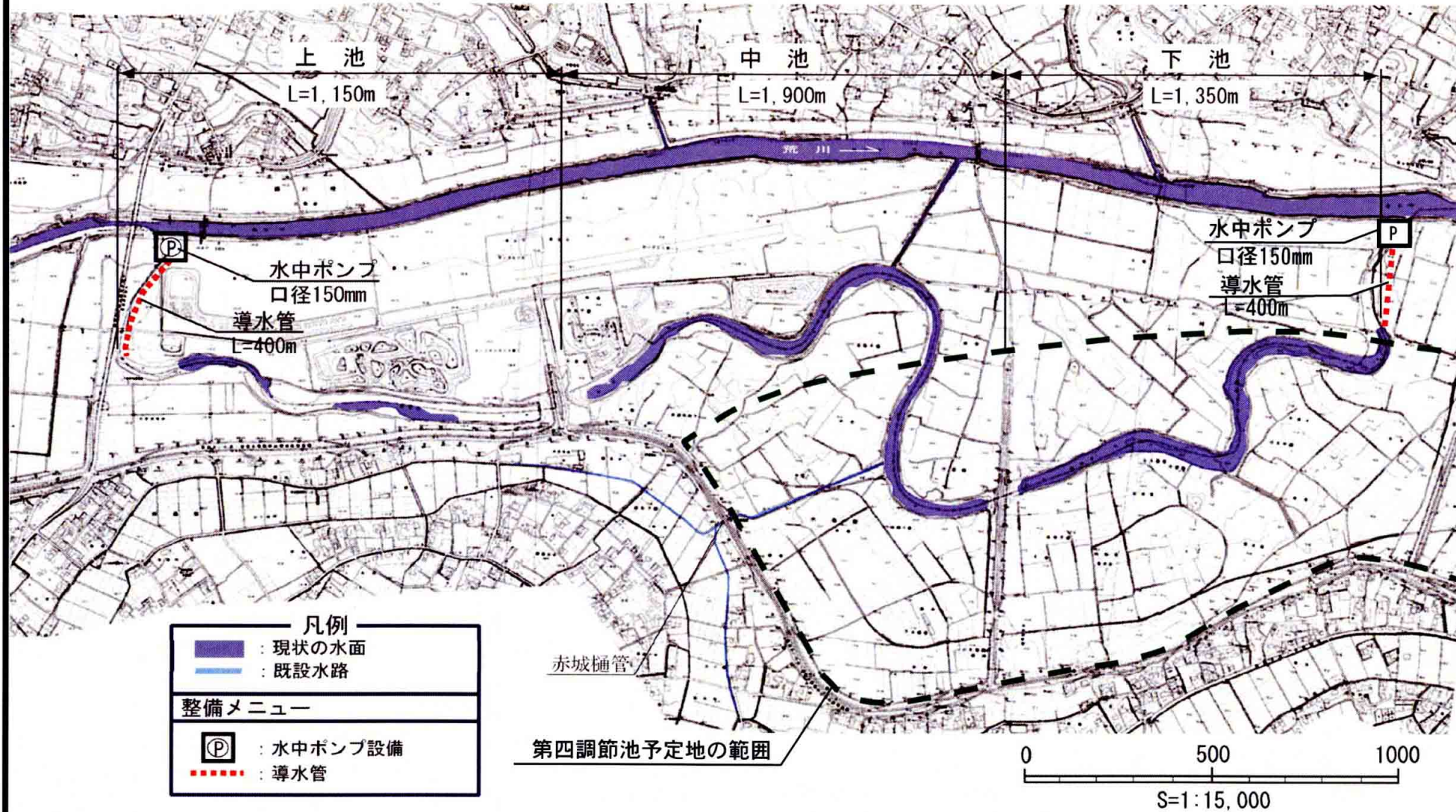
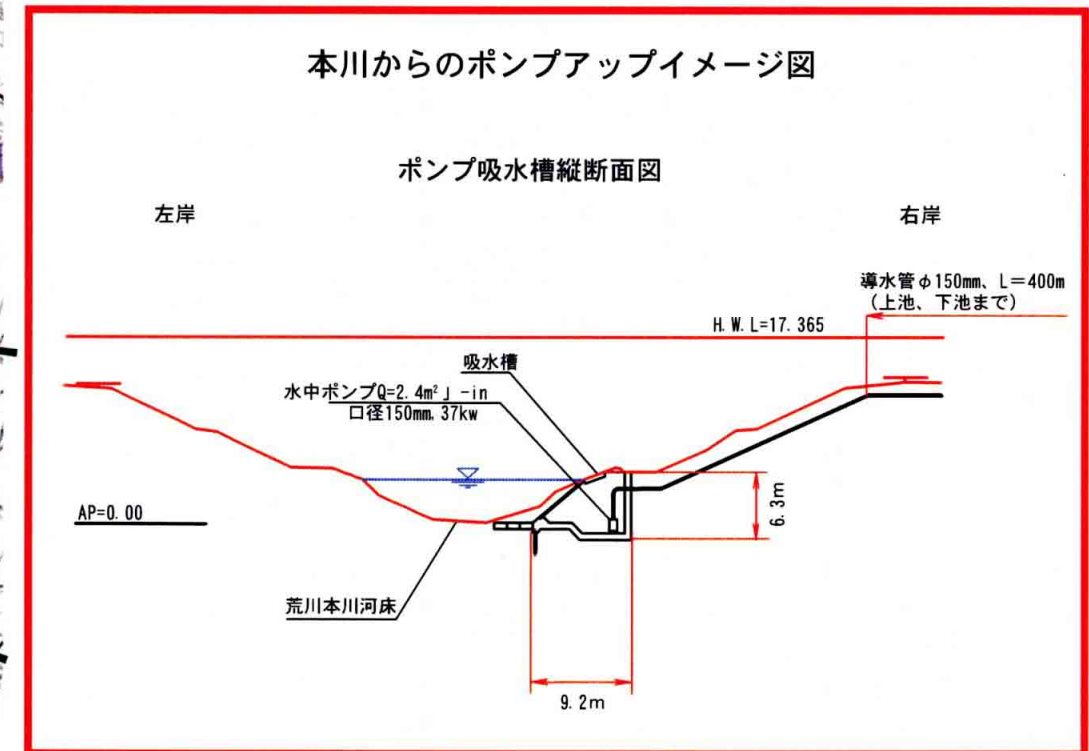


No. 3案 本川からのポンプアップ

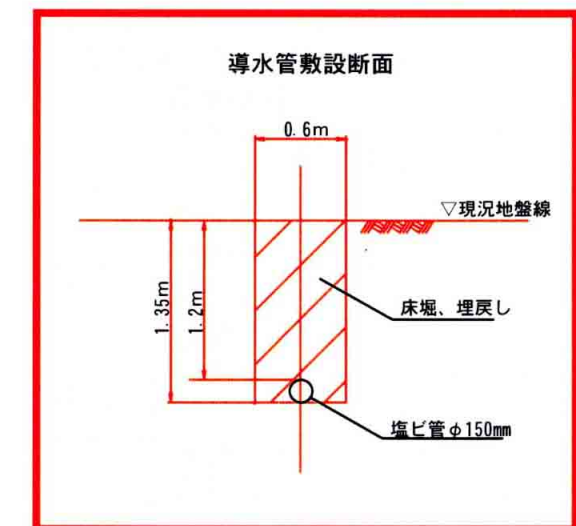
平面図



本川からのポンプアップイメージ図



導水管敷設断面



目的	荒川本川水をポンプにより取水する。					
条件	・設置は乾燥している上池、下池とする。 ・ポンプによる揚水量は2.4L/minで、24時間程度で上池の水位が10cm上昇する。					
工事概要	・水中ポンプが流失しないように、取水用のビットを荒川本川沿いに設置する。 ・本川から上池までの管路は埋設する。					
維持管理	・ビットのゴミ、土砂等の除去 ・水中ポンプ等修繕維持					
工事費	細別	単位	数量	単価(円)	金額(千円)	備考
	水中ポンプ(口径150mm、37kw)	基	1×2	3,000,000	6,000	ガイドパイプ等含む
	導水管(VP150)	m	400×2	3,000	2,400	VP管、敷設含む
	吸水槽(コンクリート)	m³	53.5×2	50,000	5,350	単価には、本体コン、鉄筋、型枠、足場工含む。
	床掘	m³	853×2	700	1,194	単価には、機械床掘積込み、1km以内ダンプ運搬、仮置場敷均し含む。
	埋戻し	m³	670×2	2,200	2,948	単価には、積込み、1km以内ダンプ運搬、埋戻し転圧含む。
	諸経費(直接工事費の50%と仮定)				8,908	
工事費合計					26,800	費用には、仮締切は含まれない
長所	・治水上是問題ない。 ・施工時に旧流路・本川の生態系に与える影響は少ない。 ・比較的簡易な工事で済み、水は安定供給できる。					
短所	・動力に頼る水供給となり、電気代、修繕維持費等維持管理費用が発生する。					
備考						